

平成20年5月

Vol. 9

発行／名田島自治会連合会

編集／自治会総務部会

印刷／銚子県農協印刷

田園

名田島地区活性化 「元気づくり」にむけて



名田島自治会連合会
会長 三輪 正明

最近では地方の時代、地方活性化の活動が叫ばれております。地域が少子高齢化となり、当名田島地区もごたぶんに洩れず、難問が山積いたしております。

自治会連合会も四月十日の総会において、二十年度の取り組み方針を決定していただき、早速、各部会の活動に着手していただいております。特に今年度は、各単位自治会の充実強化を図るため、研修会等の実施と組織の見直しの中、各種団体との連携を図るための名田島地区地域づくり協議会の立ち上げを中心に活動したいと考えております。

勿論の事ですが、昨年同様、会員との情報の共有化を図るために、報告・連絡・相談を念頭におきながら取り組む決意であります。

地域活性化「元気づくり」に向けて役員一同三本の力「本音・本気・本物」を結集して取り組むつもりですので、どうかご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

役員紹介

会長	三輪 正明 (島上自治委員)
副会長	宮崎 捷義 (向山下自治委員)
"	松永 君子 (婦人会会長)
会計	末富 長治 (東開作自治委員)
監事	中村 治美 (防犯対策協議会会長)
"	佐藤 勉 (消防後援会会長)

総務部会長	宮崎 捷義 (向山下自治委員)	教育部会長	田中 敏昭 (西開作上自治委員)
" 副会長	中村 治美 (防犯対策協議会会長)	" 副会長	中村 芳男 (青少年育成地区民協議会会長)
委員	世良 和人 (向山中自治委員)	委員	藤井 達夫 (新聞作沖自治委員)
"	松永 君子 (婦人会会長)	"	山本 幹雄 (昭和西自治委員)
"	浅原 利夫 (土地改良区理事長)	"	木村 恒之 (公民館運営審議会会長)
"	末永 林万 (消防分団長)	"	福永 光男 (体育協会会長)
民生部会長	山下 武彦 (島下自治委員)	土木部会長	中川 芳夫 (向山上自治委員)
" 副会長	林 政雄 (社会福祉協議会会長)	" 副会長	岩本 博 (新聞作西自治委員)
委員	末富 長治 (東開作自治委員)	委員	藤山 光美 (新聞作東自治委員)
"	生田 善光 (農業委員)	"	土井 博 (昭和東自治委員)
"	河村 博次 (土地改良区)	"	福田 啓亮 (西開作下自治委員)
"	藤津 純一 (J A 名田島支所長)	"	佐藤 勉 (消防後援会会長)
"	石川 秋彦 (老人クラブ会長)	防災部会長	中村 芳男 (青少年育成地区民協議会会長)
		" 副会長	佐藤 勉 (消防後援会会長)
		顧問	大林 基宏 (前会長)

南関揚大豆（カナダ産大豆）



また、福祉関係については、老人対象の講座や社協主催の「地域活動計画の策定委員会」に出席しました。

ところで、今日「食育」や「中国産ギョーザ事件」をきっかけに食の安全性に関心が高まっています。

民生部会 農業生産者と消費者シンポジウム

山下 武彦

民生部会の任務は、「運営要項」に示すように多岐にわたっています。

これまでは、主に環境美化と食の安全・食育に係る「地産地消」についての講習会や先進地視察研修等に取り組んできました。

昨年度は、「ふるさとまつり」で黒米の試食を、また「さが農業まつり」と南関揚大豆工場」を見学しました（写真）。

県内でも有数の農業生産地帯である名田島地区でも、安全な良質の農産品の提供が求められています。

そこで今年度は「名田島の農業の現状と将来についてのシンポジウム（生産活動グループと消費者との交流等）」を計画したいと思っています。

また、当自治会として取り組みが弱いと言われている高齢者及び若齢者福祉活動について、先に各戸に配布された「名田島地区地域福祉活動計画（三年計画）」に基づき、自治会の活動になじむ「生活課題」の具体策を検討したいと考えています。

自治会5部会の1年

諸課題が山積していますが、当面は地道な活動の継続が重要と思います。

今後ともご理解、ご指導をよろしくお願いいたします。

土木部会

環境整備・美化と未決案件のフォロー

中川 芳夫

藤井前部会長より引き継ぎました中川です。よろしくお願いいたします。

十九年度の活動実績

①四月に南若川沿い市道（向山下）において不幸にも自転車転落死亡事故が



通学路の土砂撤去

生しました。これにより防護柵の設置要望書を提出し設置に至りました。

②土木に関するアンケート調査、要望事項の依頼を全集落にお願いし、取りまとめたものを、県・市に陳情しました。

③幹線市道（東開作く新開作）の草刈及び泥の除去（写真）を行い、不法投棄防止看板を国道二号線バイパス名田島出口北側に設置しました。

二十年度の活動計画

①十九年度に実施しました要望事項の未解決の検討を行い、行政に陳情すると同時に新たな要望事項に対し発生の都度対応いたします。

②環境整備、美化の推進として草刈り及び泥の除去を行います。

今年度はモデルケースで集落全ての市道清掃を実施したいと考えております。

また、不法投棄防止看板の設置を実情調査し進めていきます。

集落自治会の皆様のご協力をお願いいたします。

教育部会

校舎新築の促進と通学路防犯灯の増設

田中 敏昭

昨年四月に「名田島小学校改築対策協議会」が発足し、早や一年がたちました。市教育委員会では「山口市立学校適正規模適正配置に関する提言書」を基に種々検討されてきました。当協議会も六月と十月に二度訪問し、進捗状況を確認しました。

今年三月十三日には市教育委員会から、名田島公民館に来ていただき旧校舎の解体撤去と新校舎の速やかなる建築



児童との対面式



を要望してまいりました。しかし未だ回答らしい回答を得ておりませんが、今年六月末までには何らかの回答がもらえる約束になっております。名田島も少子化が進み名田島小学校も二十年度児童は六十二人ですが二十三年度は五十人を切る予測になっております。小学校は名田島地区には無くてはならないものと思っており、出来るだけ早い時期に結論が出るよう要望してまいります。

そのほか教育部会では通学路危険個所の草刈り、清掃の応援、また通学路に防犯灯の追加設置個所の最終結論を出し関係者に設置要望をいたします。

「名田島まもり隊」の事務局もしておりますが、四月三十日には児童との「対面式」が行われました。終了後は児童と一緒に一斉下校をしております。今後とも登下校時や日常生活のなかで、児童の安全にご協力お願いいたします。

防災部会

防災部会発足と西開作避難訓練

中村 芳男

名田島自主防災会が平成十八年五月二十一日に発足し、二年が経過しました。

昨年は、八月二日に台風五号が宇部に上陸、自主防災会が自主避難を呼びかけ、その後、避難勧告が発令され七十一名の避難者の方が公民館、多目的ホールに避難されました。

これは地区の皆さんの常日頃の「自分の命は自分で守る」という意識が高いからだと思



台風5号公民館避難状況

います。

今年度から、自治会連合会の防災部会として、新たに発足し初年度の会長として重大な責任を感じています。

名田島地区は、少子高齢化が進んでおり、高齢者が避難する場合もお互いに防災意識を持ち、自分の命を大切にしなければなりません。

今年度は、防災役員を中心に八月三十一日（日曜日）に西開作集落を対象として避難訓練を実施したいと考えています。また、防災マップ作りも今年度取り組みたいと思います。

最後に関係機関のご指導、地区の皆様のご協力をお願い致します。

総務部会

新しい「地域社会づくり」構想

宮崎 捷義

総務部会では、昨年十月、「元気な名田島を目指して」と題して、地区内二十歳以上を対象としたアンケート調査を実施しました。自治会連合会に対しても多くの方から貴

重なご意見、ご要望を頂きました。今後の組織のあり方や運用の改善に活かしてまいります。ご協力ありがとうございます。

二十年度の主要な活動としては、今後目指す地域社会の姿として、市自治振興部協働推進課が計画を進めている「協働によるまちづくり」の研修会を予定しています。各種団体、公民館運営関係者等を対象とした協働推進課による説明とQ&Aにより、理解を深める土俵づくりを行います。

計画は、これからの「地域社会づくり」の骨子として、（ア）地域づくり協議会の発足（イ）地域づくり計画の策



黒石校区ふれあいセンター
大石館長他



総務部委員

定（ウ）地域交流センターへの移行をあげています。昨年、当部は宇部市「黒石校区ふれあいセンター」を視察（写真）し、「同校区」コミュニティ推進協議会（平成八年発足）について研修をしましたが、行政によって地域社会づくりの取り組みに違いがあることを実感しました。

なお、本年度から伊藤前総務部会長に代わり宮崎が引き継ぐことになりました。よろしくお願いいたします。



平成20年度 名田島自治会連合会事業計画

活動計画

1. 自治会連合会の本来の目的である各単位自治会の充実強化のため、連絡調整を図ってまいります。
2. 組織の見直しと各種団体との連携を図り地域づくり協議会を立ち上げ、この活動に参加を致したいと考えております。
3. 当面する諸問題に対処するため、内部組織の充実と情報の共有に努めてまいりたいと考えております。
4. 事業の充実を図るため、財源の確保に努めます。

事業計画

- 総務部会 単位自治会研修会の実施・広報の発行
- 民生部会 名田島地区の農業の在り方について、シンポジウムの開催
- 土木部会 河川公園管理と市道等、管理体制の確立
- 教育部会 文化交流活動の推進・視察研修の実施
- 防災部会 自主防災組織の確立・防災訓練の実施

平成20年度 名田島自治会連合会予算書

〔収入の部〕

(単位：円)

	19年度予算	20年度予算	比較増減	摘 要
自治会費	510,000	623,400	113,400	482人×1,200円 9法人×5,000円
補助金	1,000	2,007,000	2,006,000	活動支援交付金 1,000,000円 運営支援交付金 607,000円 地域づくり補助金 400,000円
雑収入	1,000	1,000	0	
前年度繰越金	407,614	536,778	129,164	自治会 423,962円 防災会 112,816円
合 計	919,614	3,168,178	2,248,564	

〔支出の部〕

(単位：円)

	19年度予算	20年度予算	比較増減	摘 要
会議費	50,000	400,000	350,000	会議運営費・旅費・日当
負担金	25,000	50,000	25,000	市自治会・南部協議会
事務費	20,000	700,000	680,000	事務局人件費・印刷代他
備品費	1,000	100,000	99,000	ロッカー他
交際費	20,000	50,000	30,000	
交通費	20,000	200,000	180,000	
研修費	110,000	100,000	-10,000	各単位自治会研修
総務部会費	150,000	150,000	0	会報印刷代
民生部会費	170,000	100,000	-70,000	名田島地区農業懇談会
土木部会費	50,000	100,000	50,000	清掃活動
教育部会費	50,000	300,000	250,000	視察研修会
防災対策費	1,000	200,000	199,000	防災部会費とし防災訓練・研修会
予備費	252,614	718,178	465,564	活動補助・その他
合 計	919,614	3,168,178	2,248,564	



歴史探訪

南蛮橋物語①

南蛮橋整備計画策定委員

藤山光美

名田島新開作南蛮橋をご存じでしょうか。地図に示しますように、新開作と昭和の境の堤防の中ほどにある旧樋門です。

安永三年（一七七四年）に新開作ができた時に建造され、中川水系の周防灘に通じる樋門としての役割を担ってきました。昭和三年（一九二八年）に昭和区ができてからは、主樋門としての役割は終えましたが、主として新開作・昭和地域の用排水路の一環としての役目を果たしています。

南蛮橋には、扉三枚の三挺樋と四枚の四挺樋があり、今は扉は残

っていませんが、昔はこれらの扉をロクロ式で上下に開閉していました。これに対して、東西の道路に設置されています四基の内水樋門は水の力で自力で開閉する唐樋で、今でも実際に使われています。

南蛮橋は、江戸時代の精巧な治水土木技術の保存や美麗な景観などが認められ、平成八年に一帯が国指定の史跡文化財になりました。しかし、建設後二百三十年余の歲月の間に、石垣の一部崩壊、ヘドロの堆積や雑草・雑木の繁茂などのため、景観・機能の低下をきたしています。

地域住民の強い要望もあり、山口市教育委員会文化財保護課を中心として整備基本計画が策定され、数回の検討委員会などを経て、整備構想がほぼ固まりました。

次回は、この整備基本計画について簡単に説明します。

編集の余白に

ミヤンマー、デルタ地帯の台風被害、中国四川省の地震被害と、このところ大きな自然災害が続いている。まさに「以て、他山の石となす（詩経）」の教えどおり、災害への備えをもう一度、確認してみましよう。キーワードは「用意周到」「油断大敵」の二つ。